

堕ちた一航戦

性器慰安空母『赤城』



基本CG 6枚

本編 52枚

突如として現れた謎の存在、深海棲艦。

それに対し唯一有効な攻撃手段を持ち、

人間と協力しながら彼らを打ち滅ぼさんとする「艦娘」

長きに渡った両勢力の争いは、多くの犠牲を出しつつも終息へと向かい、人間側の勝利はもはや時間の問題となった。

戦闘においても過剰な装備はもはや必要とされず、用の済んだ人材や設備をどのようにして平時に活かすか。

そんな悩みが議題に上がるようになった頃――

さてさて、今日の「飯はなんでしようねえ」

赤城、ちよっといいか

あ、提督。どうかしたんですか？

ああ、少し大事な話があつてな…
聞いてもらえるか？

は、はい

実は――



ええ!?

軍備縮小の関係で私か加賀さんのどちらかが艦隊を抜ける!?

ああ…実はそうなんだ……

このところ深海棲艦との戦闘が減ってきてるだろ?



この鎮守府にも、これだけ多くの正規空母を
配備しておく必要はないという話になってな

でも…どうして私たちが…

正直な話、燃費の問題がな……

うっ……

(なにも言い返せない……)

艦隊を外れるとはいっても、一時的に装備を外して



後方支援に回ってもらおうというだけだから、
完全に艦娘でなくなるわけではないよ

……加賀さんにはもう話したんですか？

いや、加賀に言ったらお前の代わりに
自分が抜けると言って聞かないだろうからな

先にお前に話しておこうと思ったんだ

……わかりました。
でも提督、知らないんですか？

なにをだ？

私も結構頑固なんですよ？

え？ あー、つまり……？

つまりー



—私が艦隊を抜けます。

というわけでこちらの施設に来たわけですが……
えっと……迎えの方は……

やあ、君が赤城君だね



あ、はい！ 私は〇〇艦隊所属の――

そういう堅苦しい挨拶はここでは不要だよ。
そんなことよりよく来てくれた。

さあ、こちらへどうぞ。早速仕事の説明に入るからね

はあ……
(なんだか、この人……ちょっと変な感じですね……というか、変なにおい……?)



あの、それで私はなにをすればいいのですか？

うん、君の仕事は簡単に言うと
ここに居る軍人や元軍人のお世話だね。



先の大戦で色々な意味で傷を負った者は少なくない。
そんな彼らの慰安になるよう、尽くすのが君の仕事というわけだ

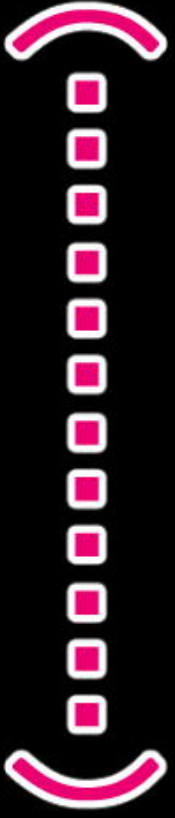
なるほど

つまりは、お手伝いさんというわけですね。
まあ戦うことしか能のない私たちの就職先としては妥当なところでしょうが

さ、というわけでとりあえずこれに着替えてくれるかな？

え………？





あ、あの……本当にこんな服に着替える必要があるんですか？

ムチッ

もちろんだよ赤城君。

(「こんな露出の多い格好、島風さんだってしませんよ……」)

ムチッ



（ううう……なんなのこれ…裸になるより恥ずかしい）

いやあ、よく似合ってるじゃないかさ、じゃあ行こうか

こんな格好で何を…

まずは君の体に異常がないか点検するんだよ



念入りだね



あの…本当にこれやらなきやダメなんですか？

もちろんだよ赤城君。とても大事なことだ

後から異常が発覚して強制的に帰投させられるなんて
君も嫌だろう？

それは…

うう？

じゃあ黙って受け入れなさい

ザッ

ザッ



ふむ、肉付きはまあ標準的。
…乳房はなかなかのものだね

下はどうかな…?
ほう、陰毛は他の赤城と比べると少し濃いな

（こんなのが本当に必要な
点検なの…!?!）

どれ、感度はっと——



ひゃっ

ほう、ちょっと触っただけで随分大げさな反応だな
これは、普段からいじっていたんじゃないのかい？

そんなことは……

(なんで気づかれて……)

ふふふ、まあいいさ
さて、では検査ついでにれを体に塗っていくよ

三才!



ひっ…何!?

慌てることはない、
普段から君らが使っていた高速修復材さ。

普段は入渠時に風呂に混ぜて使うものだが、
原液を直接肌に当てられるのはまた格別だろうか?

あ、あ…やっ

もう効いてきたか。やはり君には素質がある

アッ、

又…



体が痺れる？

わからない、空気が肌をこする感触でさえこぞばゆい…

う…あ…待って、待ってください…これ、ダメ…あっ

イヤ……こんなので……
一航戦の誇りが…

あっ、やあ







ほう、こいつを垂らされただけでイクとは大したものだ。
では、次のステップに移ろうか

「このとき私はようやく気付いた...。
この仕事は、単なる後方支援などではないという...」

ふーふー

いい顔になってきたね赤城君



はあはあ…あなた何者なんですか……
こんなこととして、許されるわけが……

なにを言ってるんだね君は
私は大本営から直々に任命されたこの管理者だよ

ここでは何人もの艦娘が、
君が受けたのと同じような検査を経て働いている

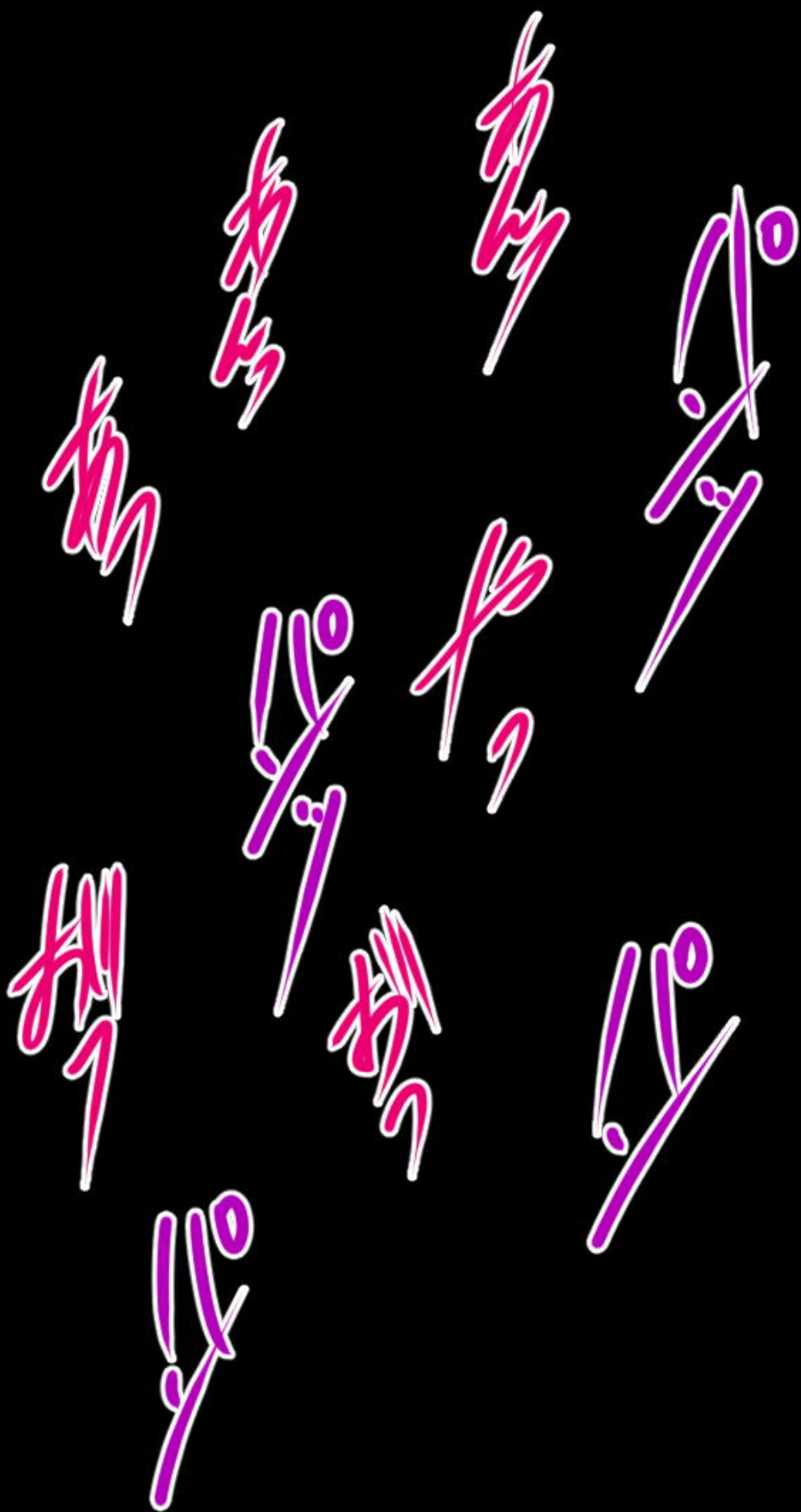


そんなのでたらめに決まっています…

本当だよ。さ、入るといい、ここが君の未来の職場だ



え……!!?



管理者を名乗る男が開けた重い扉の先に見たのは
暗闇の中で腰を振る何人もの男たちと、彼ら一人一人の前で尻を突き出し、
獣のような声を上げながら、その精を受け止める艦娘たちの姿だった。

なん…ですか…これ

言ったたる？「こ」には多くの傷ついた者たちがいる。
彼らを慰めるのが君の役目だよ。

性器慰安空母「赤城」

イヤ…イヤ…

(逃げなきや…逃げなきや！)



（なんで、体が言うことを聞かないの!）

さっきの修復材で君の体の感度は何倍にもなっている。
あまり激しく動くのはお勧めしないよ

下手に体を動かして絶頂でもしてしまうと、



身もだえした刺激だけで延々とイキ続ける廃人にもなりかねない

ハアハア…

そうならないよう、きちんと体をコントロールする術を叩き込んでやるからな

調子はどうだい赤城君

ハア

こ…こんなものなんてことありません…んっ…ハア

ハア

ハア

そうかそうか。これから数日かけて、その修復材は君の体の奥の奥まで浸透していく。

それでも君がその態度を貫き通せたら、そのときは慰安艦の適正なしとみなして、元居た艦隊に帰ってもらうよ



つまり、数日我慢すれば……)

とはいえまだまだ余裕があるみたいだ
もう少し修復材の量を増やそうか

!?



ま、待って!?





ムムム...

うっ

あわわ

びしょ

びしょ

びしょ

おやおや、今日は随分辛そうな顔をしているね。
気分でも悪いのかい？

はあはあ……航戦の誇りにかけて……

こんなものに絶対屈したりなんか……

一日中イかない程度の刺激を与えられ続け、
それでもなお屈服しないとは大したものだ

そろそろ私も本気で君を元の艦隊に帰すことを考えなければならぬかな



今日も随分苦しそうだ

何か言いたそうな顔をしているが。

しかし私はこの後用事が控えていてね、今すぐここを発たねばならない

なにが言うなら今しかないぞ？

あとは泣こうが喚こうが、明日までは聞いてやれないからな

う.....うぐっ.....

そうか、特にならいいんだ。ではまた明日



やあ赤城く——

イかせて！ お願いしますイかせてください！
もう無理なんです、耐えられないんです！

私のアソコがイきたくてイきたくてしょうがないんです！

お願いします、

せめて片手だけでも外してください！

おねがっうげっ……おねが……じまっずっうっう……



すまないな赤城君、

実は昨日砲撃訓練の視察があつてね、
大きい音で少々耳が遠くなっているんだ。

なんて言ったのかな？

イ、イかぜ

おっとすまない、もう時間なようだ
話はまた明日聞かせてもらおうよ

ま、待って！ 待つ……



待って...



やあ、赤城君。いや、赤城。昨日はすまなかつたね、
なにか私に言いたかつたんだらう？

お願いします…なんでもします…だから私をイかせてください…

そうかそうか、

その言葉を聞きたかつたんだよ赤城。

イカセイ…

あっ
あっ

では早速なんだが、仕事をするかい？
任期中大変よく働いてくれた整備員の団体がこちらに来ているんだが

はい、お願いします…

いっしょ…



もうこの地獄から解放されるならなんでもいい
そう思ってただただ首を縦に振り続けた。

だけどそれは――



新たな地獄の始まりだった。

妙
妙
妙

妙
妙

妙

妙
妙

妙
妙

妙
妙

妙
妙

妙
妙

おい見ろよ、このメス豚性器空母
反応やべえぞ！

ほんとほんと、鎮守府にいた頃の赤城は
食うか戦うかしか興味ないって感じだったけど
ここのはマジチンコが主食みたいな(笑)

しかも乳首もマジコもひとこすりで、悶絶絶頂決めるんだぜ？
感度どうなってんだよ(笑)





あああ、もうダメっ、許して！

いきたくない！ いきたくない！

誰か助けて、加賀さん、提督うう！……！

死んじゃう、死んじゃうからあああ……！

おいおい、一航戦の誇りもなにもねえな
おら、出さぞ！ お望み通りイキ死ね……！





その後も私は一瞬たりとも休む暇を与えられず、
入れ替わり立ち代わりやってくる男たちに犯され続けた。

多少体が壊れても、体中にしみ込んだ高速修復材が
一瞬で元に戻すため、気絶することすらもままならない。

昼も夜もなく蹂躪され、何日経ったかもわからなくなった頃…

やあ久しぶりだな赤城。
随分、腹が膨れているじゃないか。妊娠でもしたのかね(笑)

違いますよ管理人さん

もっと..
もっとくっ♡

俺らの精子
中出しするのも飽きたんで

全部こいつの口に射精することにしたんす
そしたらこいつすげえ大食いで(笑)

シッコ

シッコ

シッコ

中出し

シッコ

発情
済み

アナル
OK

正正下
正正

肉便器

おちんち
Sex

ムダ乳

ヤリマン

性器空母

牝豚♡

赤城♡

ザーメン
タンク
Free Hole

千和狂

シッコ

中出し

ははは、まさか精子の飲みすぎで
腹がそんなに膨れたのか(笑)

まったく無様だな、一航戦の
正規空母が聞いて呆れる

えへっ
ハッハッ

せし
せし

うっ、せべ、田ん...

俺もだ!

シッコ
シッコ

シッコ

肉便器

おちんち
Sex

ムダ乳

ヤリマン

性器空母

牝豚♡

赤城♡

ザーメン
タンク

Free Hole

千和狂

発情
済み

アナル
OK

中出し

中出し

正正下
正正





女子力
おっぱい

肉便器

おまんこ
Sex

ムダ乳

ヤリマン

性器空母

牝豚♡

赤城♡

ザーメン
タンク

Free Hole

千和狂

発情
済み

アナル
OK

○○

中出し

正正下
正正

ふう、もうダメだ…

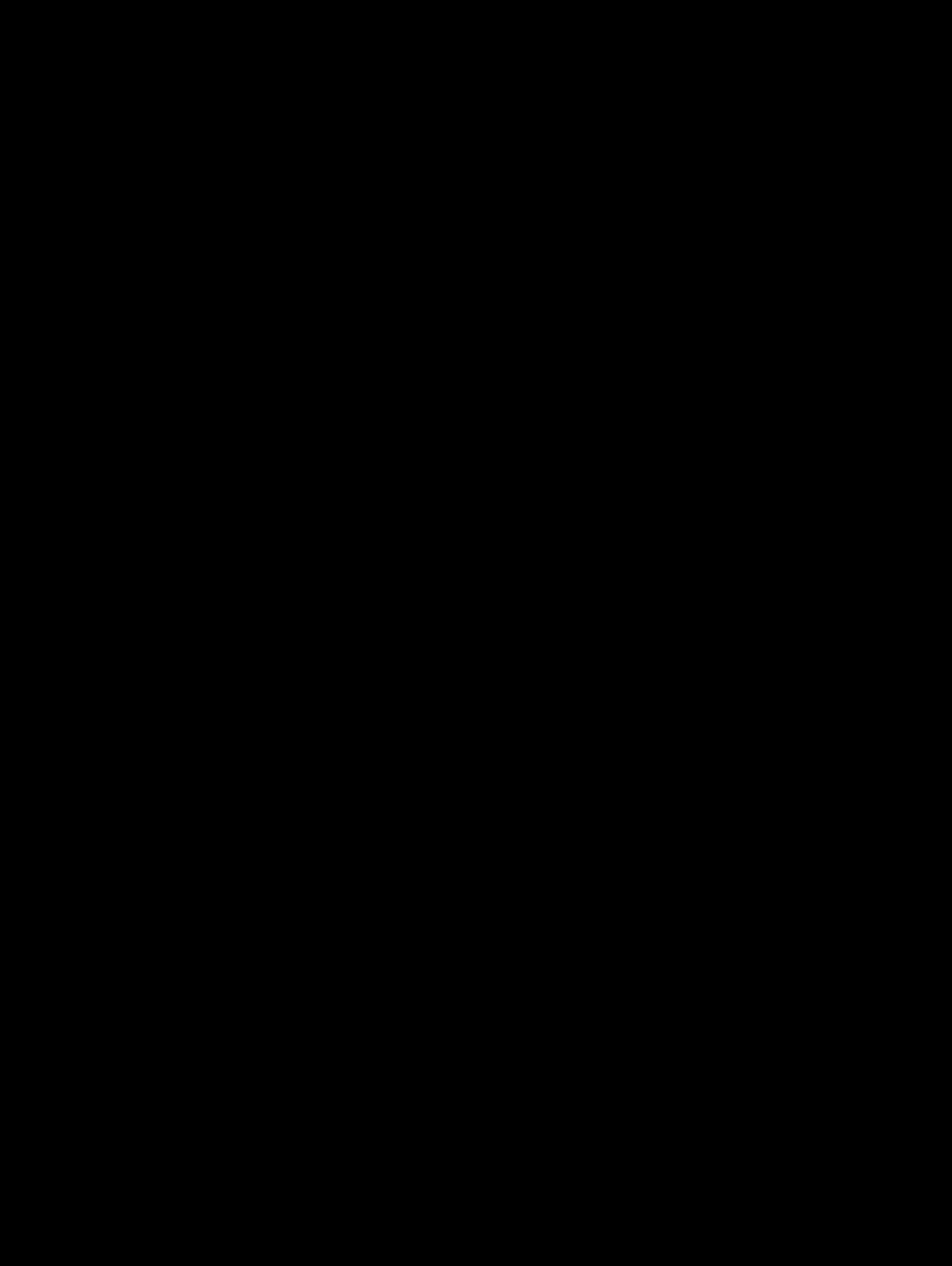
さすがにもう出ねえ

満足してもらえたようで何よりだよ
さあ赤城、そろそろ時間だ

さっさとそのイカ臭い体をきれいにして出発するぞ

出発……はひっ、あっ……





提督

ああ、加賀か、どうかしたのか？ こんなところで

いえ今日は赤城さんが帰ってくる日と聞いたので…

はは、そうか。驚かせようと思って黙っていたんだけどな

急遽決まったことで詳細はわからないんだが、

こちらで特別任務に就くとかで一時的に戻ってくることになったんだ

そろそろ来るはず……って、あれがそうじゃないか？

赤城さん………ん………？

ガッ
ガッ
ガッ

加賀さん、提督。お久しぶりでーす♡♡♡
オチンポ奴隷の性器慰安空母赤城



ただいま帰投いたしましたー♡♡♡


グググググググ

グググググググ

♡♡♡

♡♡♡





赤城さん……!!!
一体何があったんですか!?

いいか赤城、お前の次の任務だが……
標的は、『お前にくっついて回ってる金魚の糞』

— 航戦のもう一方 —

今度は一緒に楽しみましょうね

加賀さん？

FIN